

浜高教 2024 年度の執行部担当

★ 主な担当

役職/氏名	分会	担当専門部	担当各部・委員会	担当分会	市 労 連
委員長 木立敏樹	戸塚定	★賃金対策部 福利厚生部	★定時制対策委 平和教育推進委	金 沢 南 横浜総合 横浜商業	副委員長 三役会議 調査部会 マイナンバー問題
副委員長 乙守貴子	港南台 ひの	★組織法制部 教育研究部	★障教部 ★実習教員部	特別支援	中央委員 障がい者雇用問題 会計監査
書記長 三木マリ子	盲	賃金対策部 ★教育財政部 ★浜高教情報	実習教員部 ★メーデー実行委 ★臨任・再任用問題対策委	桜 丘 東 横商別 ろう YSFH	執行委員 企画部会 しごと改革 横浜 DX 戦略 再任用制度
書記次長 市原麻理子	戸塚定	★教育研究 組織法制部	事務職部 ★女性部	戸塚全 みなと総合	中央委員
執行委員 会 計 大山澄子	盲	★情報宣伝部組 織法制部	障教部 女性部 ★平和教育推進委	盲	中央委員 財政部長会議 福対部会 青女協
執行委員 金子宣子	戸塚定	★福利厚生部 組織法制部	★青年部 定時制対策委員	戸定	
会計監査 小野淳一	YSFH				
会計監査 小島純	港南台 ひの				
書 記 樺本有実子	勤務時間 平日 = 10:00~17:00				
書記局アルバイト	勤務時間 不定期 13:00~17:30				

- 分会** 金沢 桜丘 戸塚全 戸塚定 東 みなと総合 南 盲 横浜総合
横浜商業 横浜商業別科 ろう サイエンスフロンティア (YSFH) 13分会 特別支援 5
- 専門部** 賃金対策部 福利厚生部 教育財政部 組織法制部 教育研究部 情報宣伝部
- 各部** 障害児教育部 実習教員部 事務職部 青年部 女性部
メーデー実行委員会 平和教育推進委員会 定時制対策委員会 臨任・再任用問題対策委員会



今年度も神障教組と共催で独自メーデー集会を行います。各分会の要求を、出し物やボードにして、2分を目安にアピールしてください。

分会で誘い合って参加してください。

4/29 (月、祝日) 集 会 14:30~15:30 市従会館ホール
パレード 16:00~17:00 桜木町駅→伊勢佐木モール
伊勢佐木長者町駅 (雨天中止)

二〇二四年度のはじめにあたって

執行委員長 木立敏樹

この一年間は「新型コロナウイルス」の影響も一段落して、教育現場、組合運動も対面での集まりが増えてまいりました。そのような中で、私たちの賃金においては三十年ぶりに月例給、特別給のプラス改定がなされました。しかし、それ以上の物価上昇が起こり実質はマイナスの状態です。今年の民間企業の春闘では大企業の多くが大幅賃上げを勝ちとりました。我々地方公務員の賃金は自治体の人事委員会勧告が大きく影響しますが、私たちはそれを黙って待っているわけにはまいりませ

ん。浜高教が所属する横浜市労働組合連盟(市労連)はこの三月、調査部が人事委員会に申し入れを行うとともに、四役が団体交渉において副市長をはじめとする当局側に要求書を提出しました。我々の要求を実現させるためには我々市職員の団結が必要です。そして浜高教についても横浜市立高校並びに障がい児学校の教職員の方々の一致団結が必要です。「浜高教」がどんな組合か、よく知っていたらいて、一人でも多くの方にご加入いただきたいと存じます。とは言っても「浜高教」が

どんな組合か」は組合員の方でもよくわからない方がおられるでしょう。そこでこの紙面をお借りして、「浜高教」についての説明ができればと存じます。「浜高教」をよく知っていただき、浜高教運動にもっともっと積極的に参加していただきたいのです。

二〇二四年度も皆さんが安心して働ける職場をめざしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



集まって思いを述べよう!
市民にアピールしよう!

メーデー

2024 4.29 [MON祝]

集会: 14:30~15:30 横浜市従会館
集会は天候にかかわらず横浜市従会館で行います(桜木町OR日/出町歩10分)

パレード: 16:00~17:00 パレードは雨天中止です。
桜木町駅前~新横浜駅~イセザキモール~伊勢佐木長者町駅付近解散

浜高教・神障教組共催
お問い合わせ・参加申し込み TEL:045-241-2744

メーデーとは、働くものの祭典です!

「定通父母の会」全国交流会

3月23日(土)・24日(日)の二日間、山口県山口市の湯田温泉「ホテル喜良久」において、「第28回『定通父母の会』全国交流会」が開催され、宮城県、横浜市、愛知県、大阪府、山口県、長崎県から父母、教員等15名が参加しました。山口県からは、かつて浜高教執行委員だった瀬田さん(山口県立定時制高校勤務)も参加しました。

まずは「あいち定時制・通信制父母の会」からこの28年の歴史について振り返りが語られました。一九九二年に「あいち」の会が発足し、一九九六年に「京都」「大阪」の会と交流するようになりました。二〇〇〇年、「岐阜県」「静岡県」「神奈川県」が参加、

その後も「埼玉県」「東京都」「茨城県」「岡山県」「長崎県」「山口県」が参加するようになりました。年に一度の集まりですが、会場もローテーションで行い、横浜でも四回行われました。参加者も父母のみならず、教職員、生徒、卒業生、新聞記者、国會議員秘書と、定時制通信制高校を取り巻く方々にまで広がりました。しかし近年は会員の高齢化が進み「京都定通みんなの会」は活動を停止するに至りました。

続いて各参加団体からの報告がありました。全教定通部から昨年十一月に行われた文科省交渉の報告がありました。「SSW・SCなどの専門職員の常勤化」「教育の無

償化」についての報告がなされました。宮城県からは二〇一四年に開校した美田園高校(通信制)についての報告がありました。愛知県からは「父母の会」主催で行われている「公立の定時制・通信制高校を知る会&相談会」「同説明会&相談会」「おでかけ相談」、署名活動、対県交渉の報告がありました。大阪府からは府立夜間定時制高校のSSWの配置状況について、大阪市立高校の府への移管についての報告がなされました。山口県からは入選における定数内不合格について、定時制高校出身者の卒業後について報告されました。

毎年この年度末に行われるこの交流会は28回を数え、次回は京都府での開催を予定しています。(木立敏樹)

二〇一三年度 高校教育シンポジウムin宮城

1月27日(土)・28日(日)、全日本教職員組合と全国高校組織懇談会の主催で、「子どもたち・生徒たちに寄りそった学校を」ジェンダー平等の視点から、子どもの権利を「てらそう」をテーマに、全体会と分科会で生徒指導要領の改定、「校則」の見直し等にかかわって「子どもの権利」を意識した新たな動きを深めるシンポジウムが開かれました。

1日目の全体会では開会セレモニーの後、東京大学名誉教授・認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク(AN)理事長の上野千鶴子氏から講演「ジェンダー平等、ジェンダーに関する問題を教育と関連付けて」がありました。【以下は講演の要旨】

「現在、四大進学率は男子五十七%、女子五十%強である。短大の進学率は下がっている。東大進学で女子が少ないのは受験する女子が少ないからである。保守的な結婚観があるほど結婚できなくなり、それが少子化につながっている。日本は女性の就職率が欧米よりも高いが、その多くは非正規である(不本意非正規雇用)。一九八六年は労働者派遣事業法が制定された年であるとともに女性格差分断元年でもある。これにより多くの女性は一定の年収に甘んじている。昨年、一〇三万円の壁・一三〇万円の壁が緩和されたが、それは人手不足の解消に過ぎない。そしてBB(貧乏婆さん)問題・アンダークラス(下層階級)問題へと至る。そして当事者はこの状態を納得させられていくのが教師の役割ではないのか?これらの問題を生徒たちに「ノイズ」として訴え、問題意識を持たせるべきではないか。上からの命令が絶対の軍隊は無くなったが、学校教育における校則は生徒を縛り付けている。何より教員自身が自由な発言ができなければ、何を教育できよう?自分がやったことがないことを教えることはできない」。講演の後、質疑応答がなされ、分散討論・交流を行いました。

休憩をはさんで四つに分かれての分科会が翌日の午前まで行われました。私が参加した第二分科会「民主的な主権者を育てる学校づくりを進めよう」では「生徒の自立的活動を通じて、民主的な服装自由化にむけて」「主権者を育成するための教育を模索して・・・生徒主体の授業・探究活動や地

雨宮処凛の 生き抜くための実用書 世直し随想



私事で恐縮だが、2月に出した『死なないノウハウ 独り身の「金欠」から「散骨」まで』が発売1週間で3刷となった。

もう本当に、具体的なことばかりを詰め込んだ実用書だ。「お金がなくなった」「働けなくなったら」「親の介護が必要になった」「はたまた自分の死後の後始末までを網羅した。生活保護や雇用保険、傷病手当金などの公的制度は もちろん、親の介護施設の選定から納骨までを代行し

てくれる民間サービス、自らの死後のスマホやサブスクの解約、親が亡くなった場合の口座凍結について、DV男や虐待親に居場所がバレないための支援措置、行方不明者の不受理措置、入っておくべきがん保険の種類、警察が動いてくれない場合、被害届より告訴の方が有効などなど、「使える」情報を盛り込んだ。どれもこれも、アラフィフで独り身、フリーランスという超不安定な自分が、喉から手が出るほど欲しかった情報だ。自らの不安をしらみつぶしにするような取材を敢行してまとめたところ、大きな反響を頂いているのである。

紹介している民間サービスのの中には、自分がずっと使っていたものも含まれる。例えば何十年も毒親の支配に悩んでいた友人に紹介した相談室。介入してもらったことで円満に離れることができ、今もお互い落ち着いた生活をしている。それまでどこに相談しても「よく話しあって」で終わっていたのが、さまざまな制度を組み合わせ、双方納得する解決に至ったのだ。そんなノウハウを詰め込んだ一冊。ぜひ、手にとってみてほしい。

(「連合通信」3/20より)

今月のイチオシメニュー

絹ごし豆腐入り だしごはん

家庭料理研究家 池上正子

〈材料 1人分〉
絹ごし豆腐 500g、
A(だし汁200cc、酒大さじ1、塩小さじ1/2弱、しょうゆ少々)、温かいごはん100g、刻みのり適量。

〈作り方〉
①豆腐は3センチ角に切る。
②小鍋にAを入れ弱火にかける。沸騰したら豆腐をそっと入れ、温める。
③器にごはんを盛り付け、温まった豆腐を汁ごとかける。仕上げに刻みのりを散らす。

〈アドバイス〉
少し食べ応えがほしい場合は、五目がんもがオススメ。
五目がんもを1センチ角に切り、だし汁はそのまま、酒と塩のかわりに麵つゆを使って味付けしてください。ごはんを盛り付けて汁ごとかけた後、もみのりや三つ葉、天かすをトッピングしてもおいしくですよ。

